

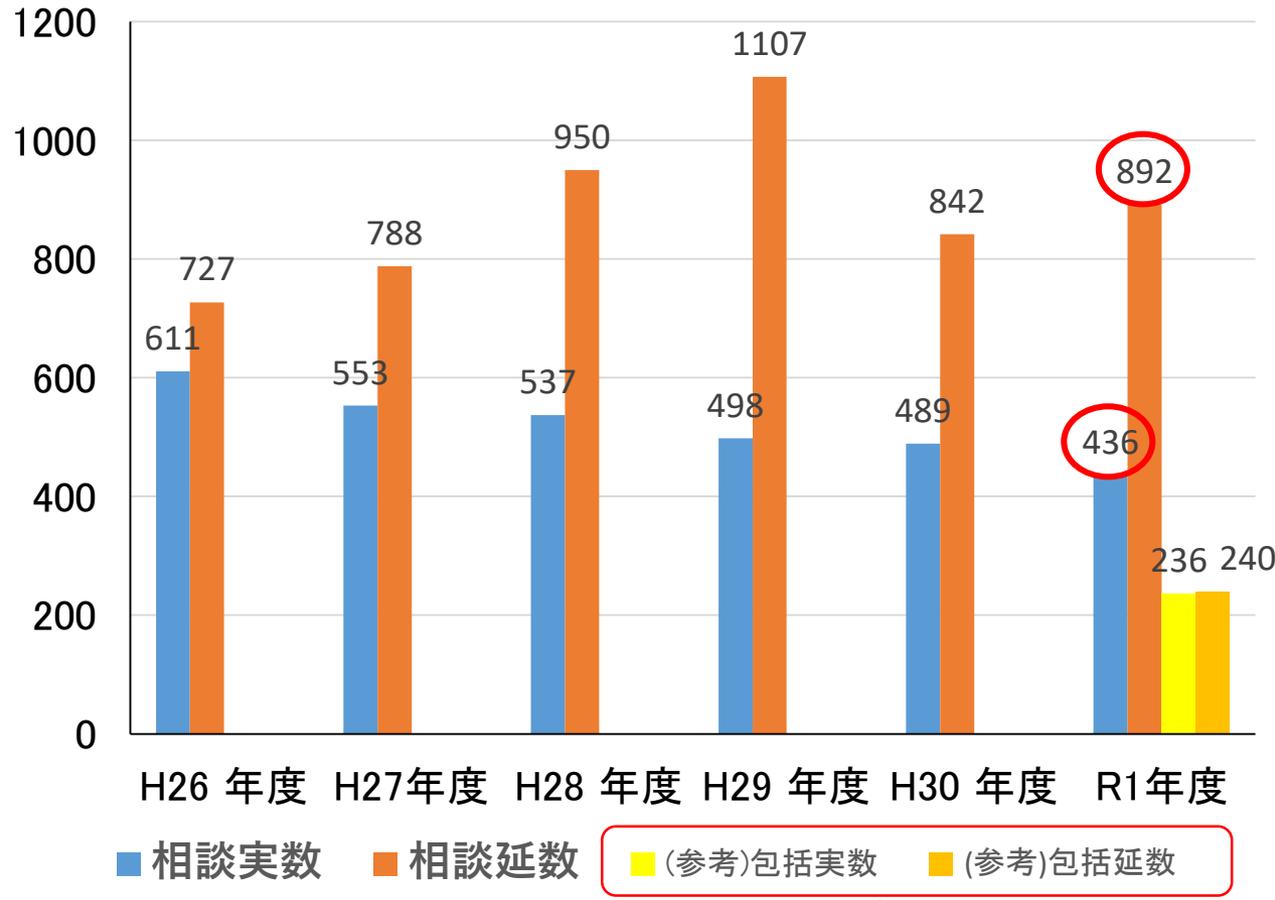
柏地域医療連携センター 相談状況

【平成31年4月～令和2年3月】

地域医療推進課

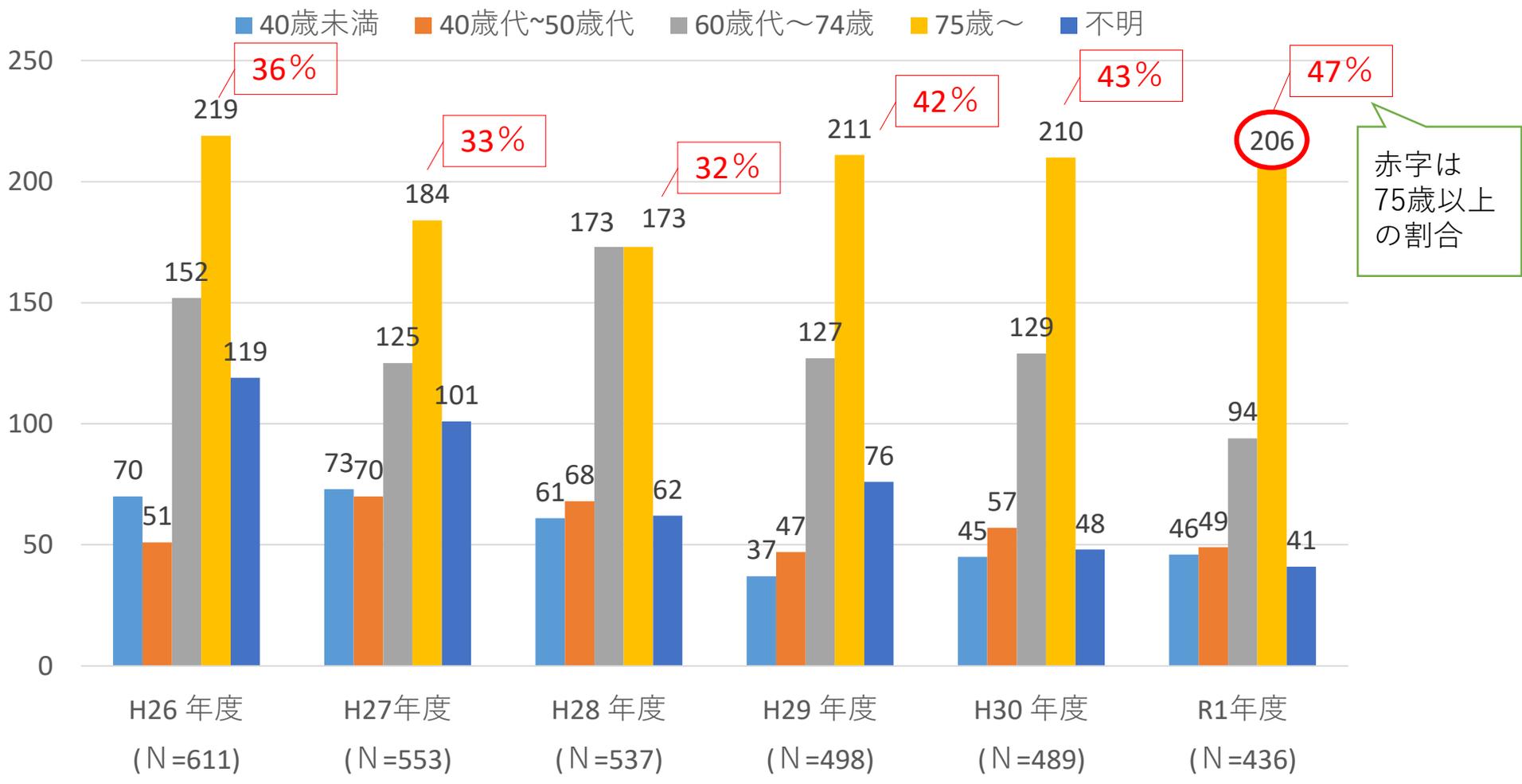
1 - ① 【相談全体】 相談件数

○相談実数は微減
相談延数は微増
複数回での相談対応の増加



※各地域における相談窓口地域包括支援センター(12か所)
R1年度より、地域包括支援センターの総合相談のうち「在宅医療に関する相談」件数の集計を開始した。

1-② 【相談全体】 相談対象者の年齢



赤字は75歳以上の割合

○ 75歳以上の相談が47%と最多。経年的にはほぼ横ばい。

1 - ③ 【相談全体】 相談対象者の疾患

0 100 200 300 400 500 600 700 複数回答可

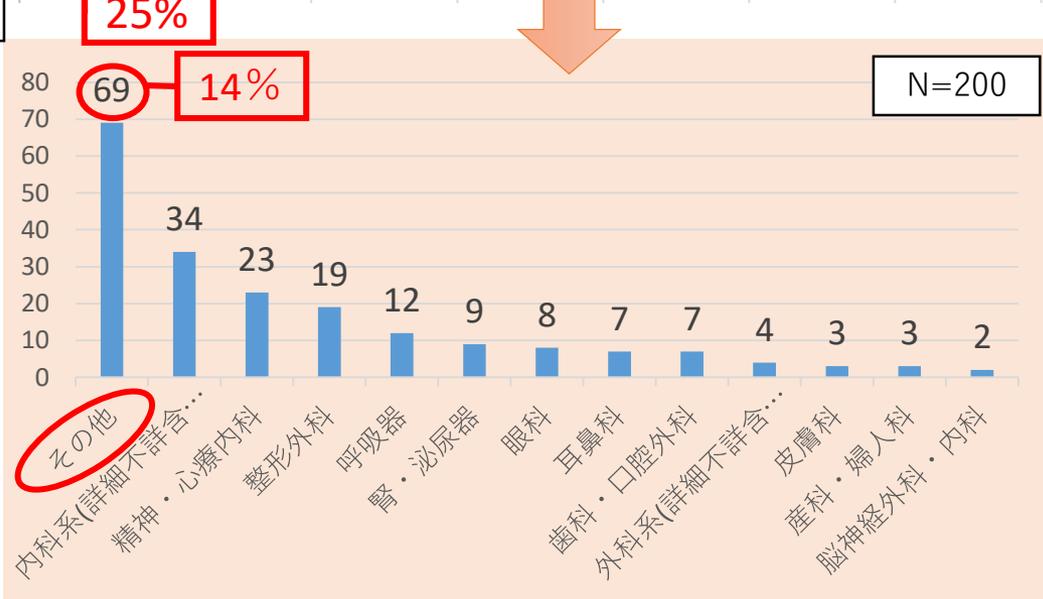


- 認知症
- がん
- 心疾患
- 脳血管疾患
- 糖尿病
- 難病
- 障害
- 小児
- その他

○ 「がん」(25%)が最多だが、経年的にはやや減少

○ 「その他」42%

N=476



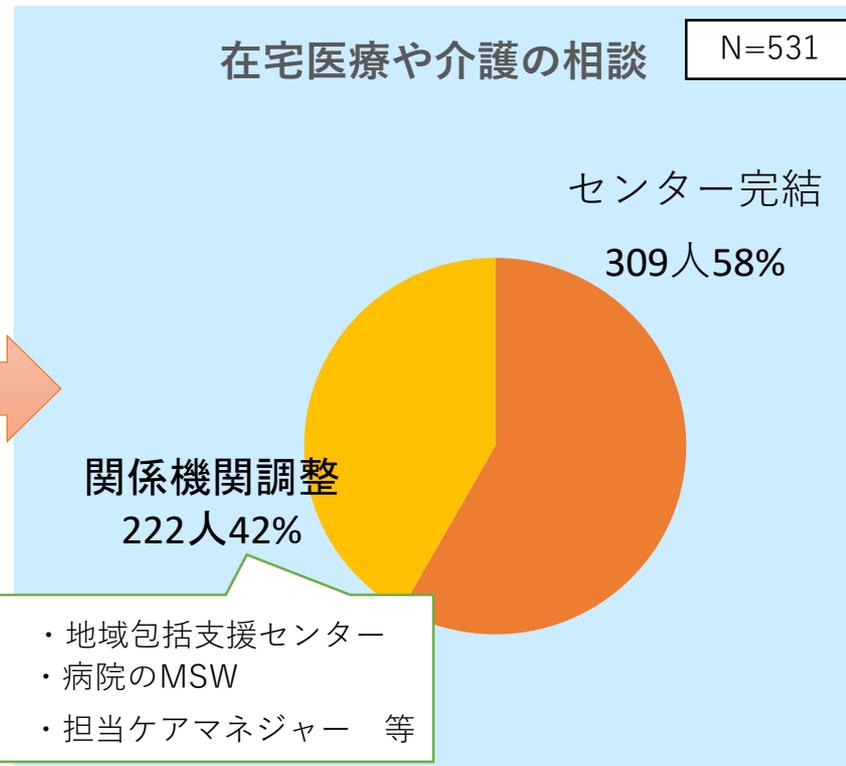
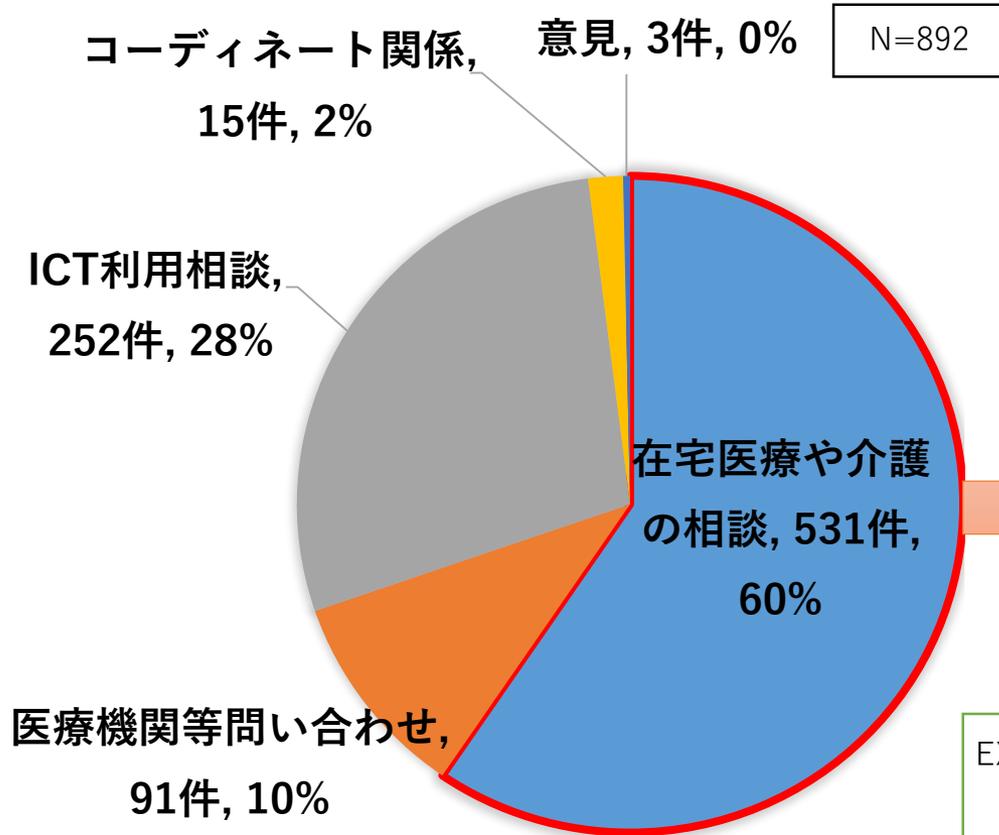
N=200

《その他の内訳》

○ 「その他」は全体の14%
※疾患名未把握も含まれる。

⇒ 行政の相談窓口として幅広く多様な相談を受けている。

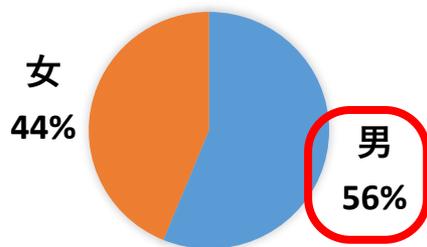
1-④【相談全体】 R1年度の相談内容



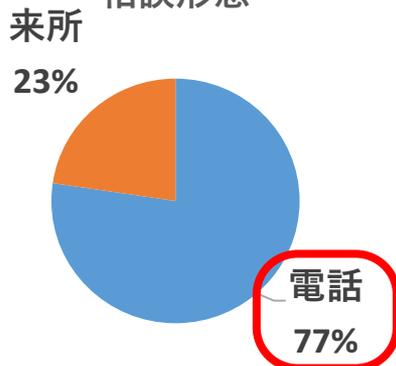
○ 「在宅医療や介護の相談」が60%

○ 「在宅医療や介護の相談」のうち、「関係機関調整」が42%

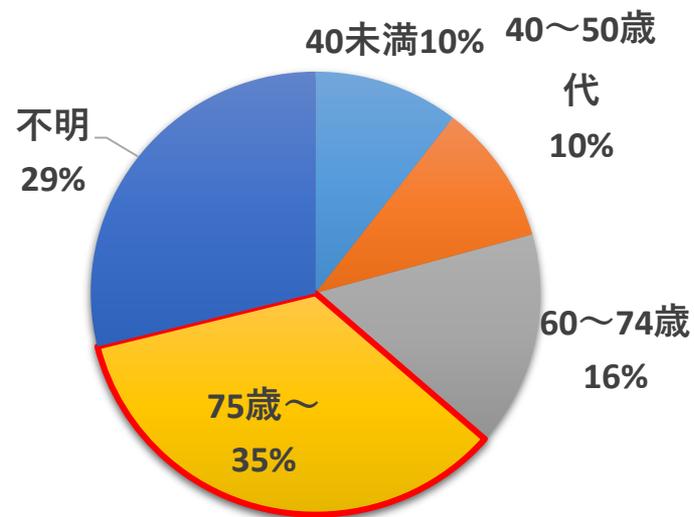
性別



相談形態



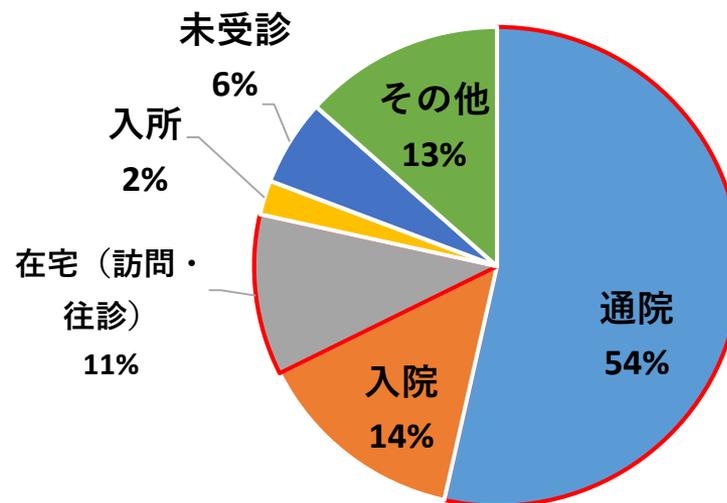
年齢

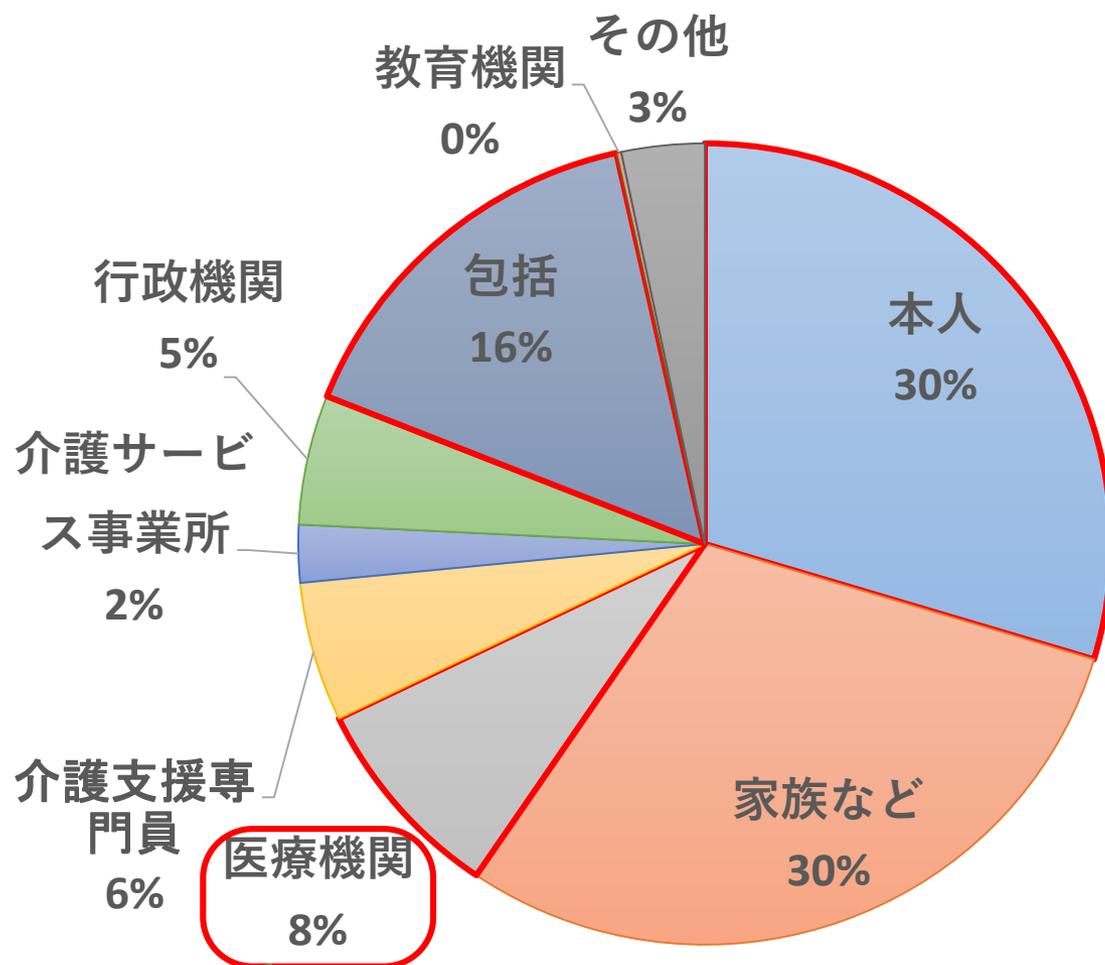


《特徴》

- ① 相談対象者は男性が56%
- ② 電話相談が77%
- ③ 75歳以上の相談が35%で最多
- ④ 治療場所は「通院中」が54%
既に在宅医療を利用している方からの相談は11%

治療場所





○本人からは30%。家族からも30%で最多。

○地域包括支援センターからの相談は16%
判断に迷うケースなど、医療面での専門的な助言に対応。

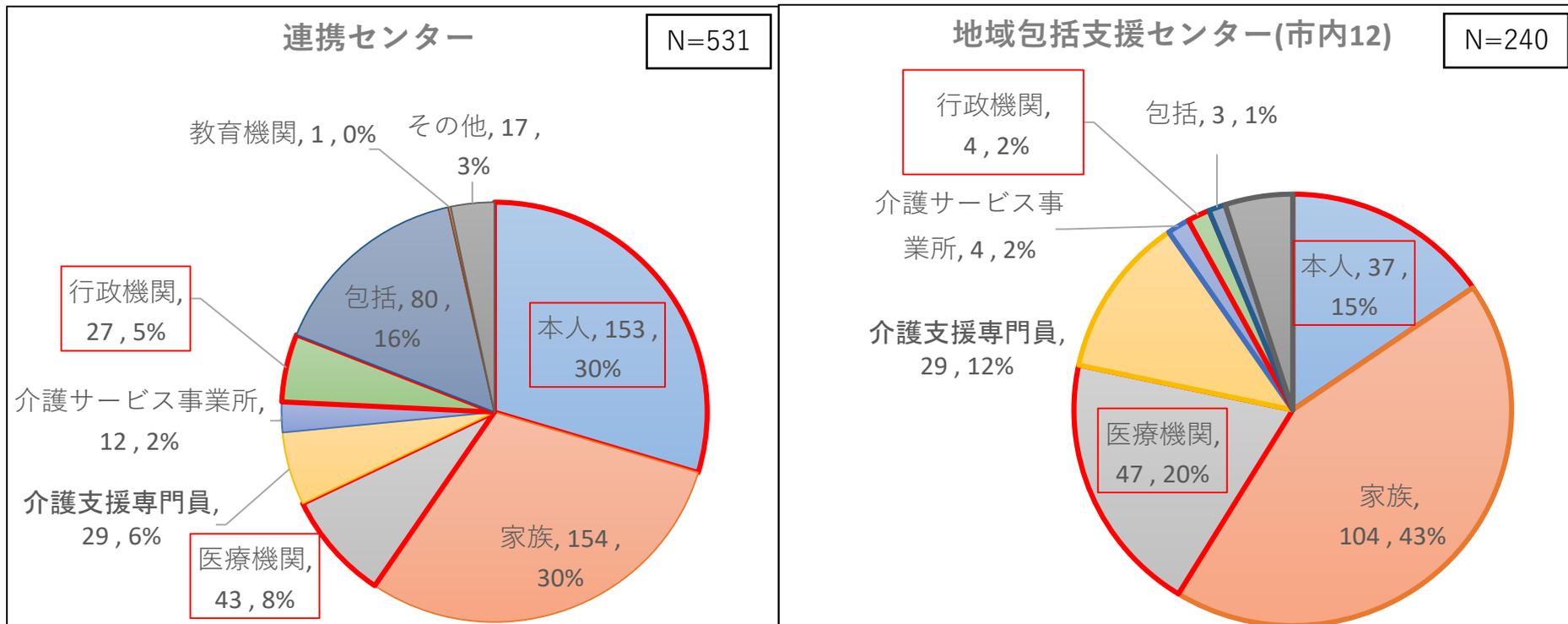
○医療機関からの相談は8%
かかりつけ医情報や調整についての相談内容に対応。

医療機関：43件

■市内32件 ・病院5施設、
・クリニック10施設

■市外11件：病院7施設

連携センターと地域包括支援センターの相談状況から、連携センターの役割を検討する。



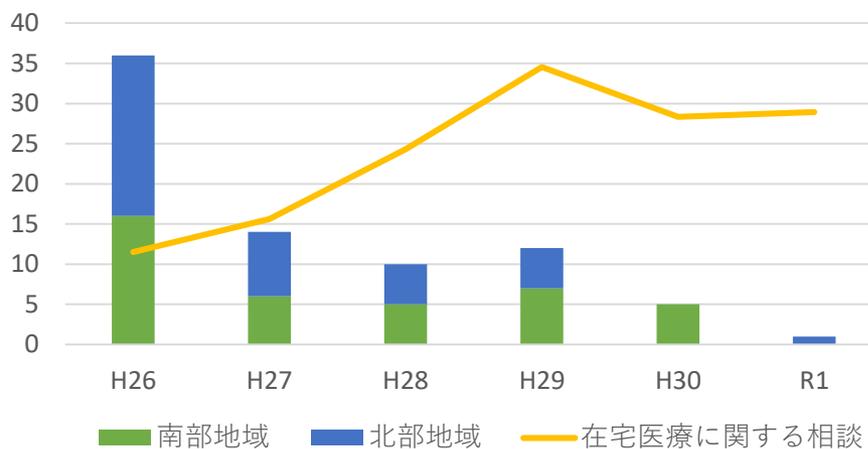
《特徴》

- 「本人・家族」の占める割合は、連携センターも包括も同程度（約60%）
連携センターは相談者ご本人からの相談が30%とやや多い。
- 「医療機関」からの相談は、地域包括支援センターにも寄せられている。理由として地域の高齢者の総合相談窓口としての認知度向上が影響していると推察される。
- 包括に比べて「行政機関」からの相談は5%
市役所内では、市民からの相談の中で「病院」「医療」「在宅医療」のキーワードから、連携センターにつないでいる現状がある。

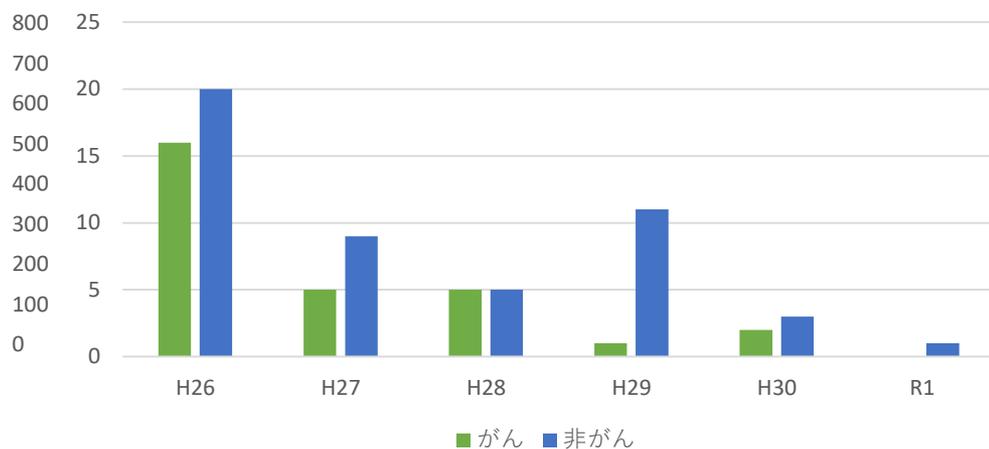
3 R1 【医師コーディネーター状況】

医師コーディネーターとは、在宅医師の調整依頼のこと。柏市の場合は北部地域、南部地域に分けて調整。

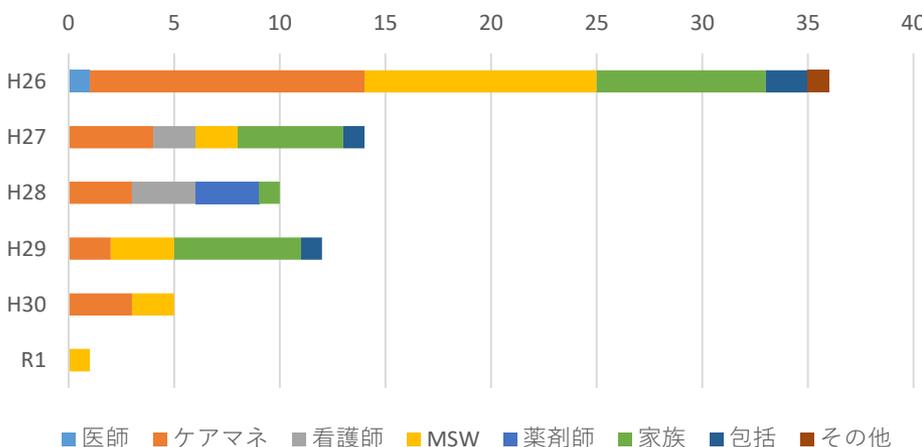
医師コーディネーター・相談推移



がん・非がん



相談者割合



○H26年度と比較して、医師コーディネーターの実数は減少。しかし在宅医療に関する相談は増加している。

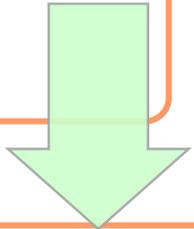
○H26年度よりセンター立ち上げ当初は、役割の確認及び状況把握のため、センターへ相談を勧奨。

○コーディネーター内容が変遷している。
 ・がんが減少
 ・多職種が直接調整することへの助言・後方支援の増加

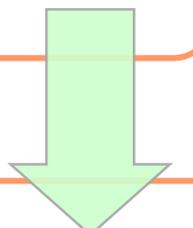
4 - ① 相談レビューの状況

目的：連携センターの総合窓口における相談技術の向上や相談機能の体制強化を図る。

①課内レビュー 相談内容の情報共有・相談員のスキルアップと標準化

- ・ 全相談件数の報告・共有・対応検討
- 

②医師レビュー 専門的助言により相談の質の担保・相談員の人材育成

- ・ 柏市医師会（在宅・プライマリケア委員会）推薦医師を柏市の非常勤特別職員として委嘱
 - ・ 「在宅医療と介護の相談」の中から助言を求めるものを相談（全体の約1割程度）
- 

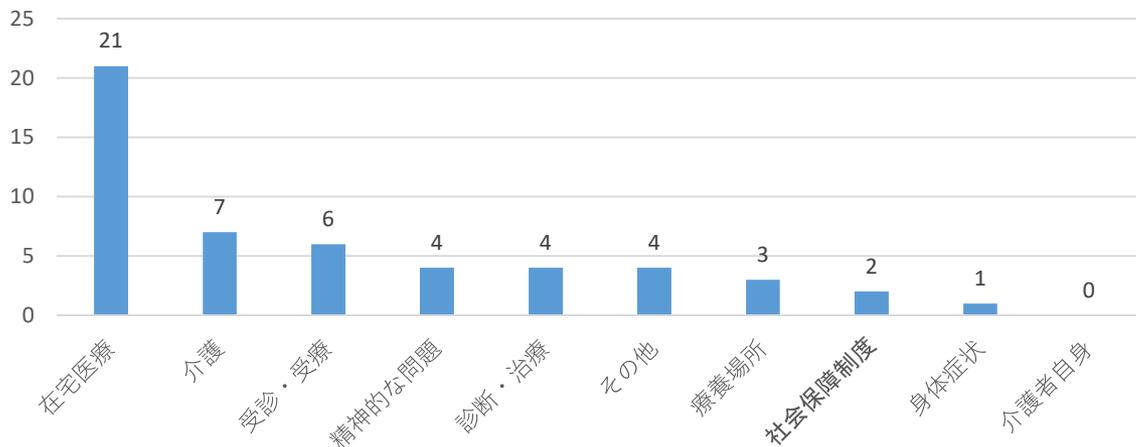
③柏市医師会「在宅・プライマリケア委員会」報告・共有

- ・ 毎月の相談状況と医師レビューの結果報告

4 - ② R1 医師レビュー相談内容

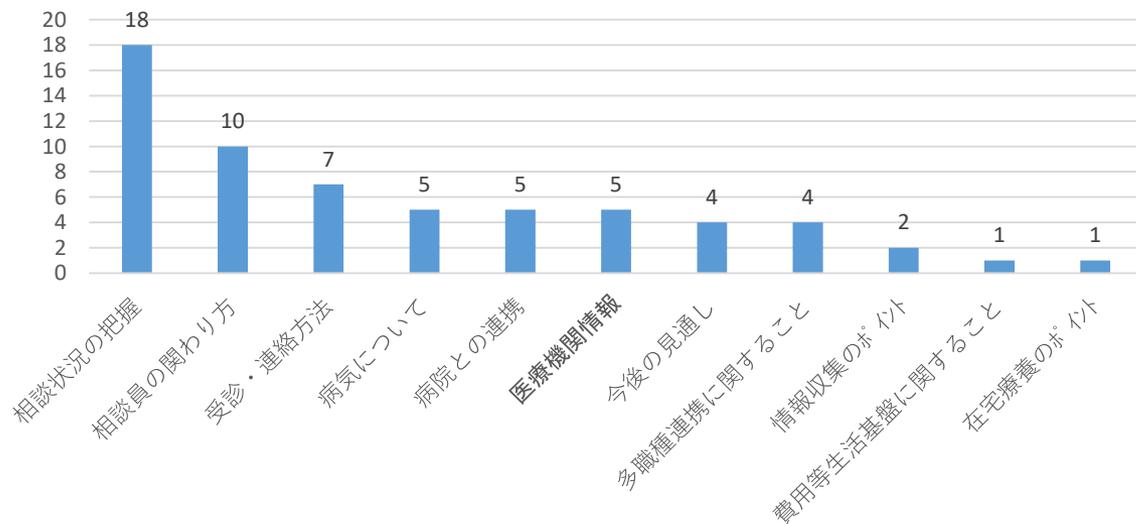
相談内容（単位：件）

N=52



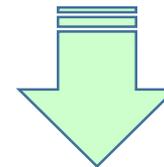
助言内容分類（単位：件，重複あり）

N=62



《相談内容の助言》

- 在宅医療に関する相談が最も多く21件。
- 相談状況の把握（18件），相談員の関わり方についての助言（20件）が多い。



《相談体制の充実・強化》

- 「在宅医療支援診療所一覧リスト」作成
- 「『実施可能な検査・処置』に関するアンケートの実施・リスト」作成

① 市民に対する相談窓口としての機能

行政の窓口として幅広い年代から多様な相談を受ける、ワンストップ窓口としての機能と、関係機関に適切につなげるなど、ハブ機能を期待されている。

② 医療・介護関係者からの相談窓口としての機能

専門的な助言や情報提供により、直接的な支援だけでなく、後方支援機能の役割を通して、多職種連携を推進している。